

平成 2 2 年度水源地域活性化調査委託業務
(事業名 「まちなか」と「水源地域」の老人世代交流事業)
実施報告書

平成 2 3 年 3 月 1 0 日

特定非営利活動法人ラーバンマネジメント

目 次

1. 水源地域の現状及び本調査の目的	1
2. 調査対象地域	2
3. 業務内容	4
4. 業務全体の方針及び手法	5
5. 調査報告	6
(1) 水源地域活性化活動の企画立案	6
(2) 水源地域活性化活動の実施	10
1) 「まちなか」と「水源地域」で 調査事業実施	10
2) 地域間活性化事業の実施	13
① 「土曜朝市」の開催	13
② 両地域の伝統的技術や生活文化「交流展」開催	18
③ 両地域の資源の整理・抽出及び情報誌の発行等による情報発信	23
3) 水源地域の活性化を考える「地域交流大学」開講	28
6. 事業のまとめと成果報告	41
7. 今後の課題	42

「まちなか」と「水源地域」の老人世代交流事業

受託者 住 所 鳥取県鳥取市本町1丁目103番地
電話番号 0857-37-0257
団体名 NPO法人ラーバンマネジメント
代表者 加 嶋 襄

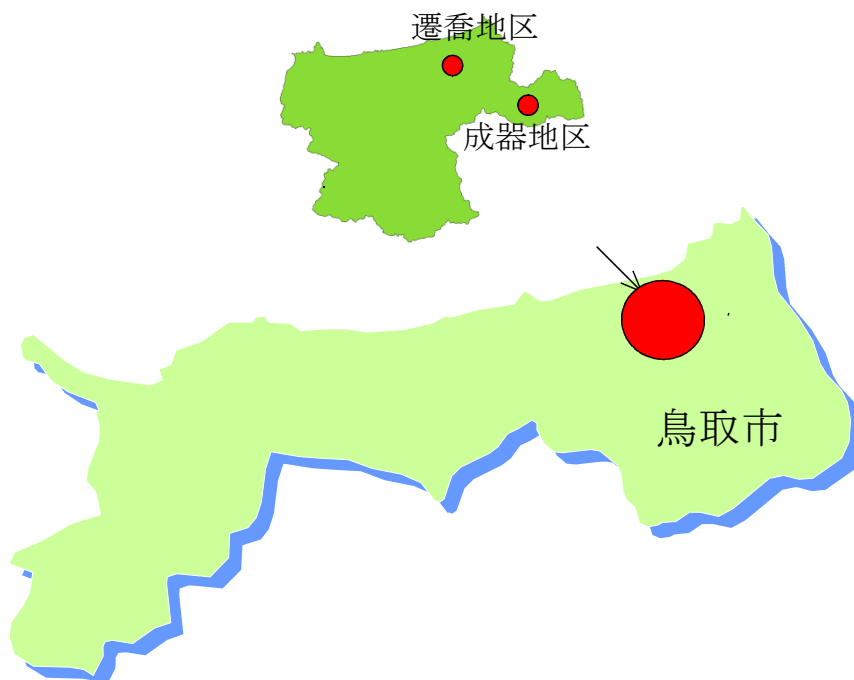
担当者 氏 名 中 野 敬 教
電話番号 0857-37-0257
FAX 0857-37-0258
E-mail npo@rurban.com

1. 水源地域の現状及び本調査の目的

鳥取平野を流れる千代川水系の一つ袋川の「水源地域」であり、殿ダムの所在地である鳥取市国府町成器地区（人口約750人・高齢化率38%）は、住民の高齢化による地区の存続の在り方に苦悩する状態が続いている。

また、袋川の下流域に位置する「まちなか」遷喬地区（人口約2400人・高齢化率32%）も中心市街地の空洞化が進み、空き店舗の増加と少子高齢化が顕著である。両地域が抱える不安と不満を解消することこそ地域に元気を取り戻す最良の試みである。

「水源地域」と「まちなか」の老世代が積極的に交流し、その経験と知恵を集合しお互いに元気をもらい、また元気を与える活動を継続しながら、それぞれのコミュニティ活性化に参画する事業である。



2. 調査対象地域

鳥取県鳥取市の千代川水系袋川の上流側に位置し、殿ダムの周辺地域である成器地区と、袋川下流側で中心市街地の中心地に位置する遷喬地区を調査対象とし、実施した。



調査活動の対象となる遷喬地区と成器地区

成器地区



遷喬地区若桜街道



遷喬地区川端通り



3. 業務内容

(1) 水源地域活性化活動の企画立案

鳥取県鳥取市の水源地域及び中心市街地の遷喬地区等において、地元関係者等との連携のもと、ダム等を含めた各種の資源（森林・水・観光資源・物産・文化財等及びダム事業・水特事業に関連した公共施設（整備予定のものを含む））を活用した、以下を内容に含む水源地域活性化活動を企画・立案した。

●地域間活性化事業の実施

継続的な活性化活動とすることを十分に検討した上で、以下を実施した。

- ・水源地域で生産された野菜等の特産品を遷喬地区等の中心市街地で販売する朝市の開催(空き店舗を活用して8月～12月に2回/月、計10回実施)
- ・両地域にある伝統的な技術や生活文化の「交流展」の開催(1回/地域、計2回)。
- ・両地域の資源の整理・抽出及び情報誌の発行等による情報発信

●地域交流大学の開講

「まちなかと水源地域のまちづくり」についての専門家を講師とした両地域住民参加による講演会(1回)、ワークショップ(3回)、報告発表会の開催。

(2) 水源地域活性化活動の実施

上記で企画・立案した水源地域活性化活動について実施した。

実施に際しては、関係者、関係機関と十分に連携して実施した。

(3) 以下の諸点について整理・分析するとともに、課題については、その解決策について検討した。

- ・「まちなか」と「水源地域」に共通する住民の高齢化とその生活力について。
- ・両地域のコミュニティの自己評価と相互補完体制の可能性について。
- ・地域間交流から生まれてくる活性化事業とはどのようなものであったか。
- ・水源地域の活性化への効果はどのようなものであったか。
- ・関係者、参加者の評価・感想はどのようなものであったか。
- ・活動の実行体制(準備・連絡調整・収支等)上の課題は何か。
- ・これらの結果を踏まえ、今後の水源地域の長期的な安定・発展を図るための活性化方策を取りまとめる。

4. 業務全体の方針及び手法

平成21年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業「まちなか」と「中山間地域」の老人世代交流事業を遷喬地区と水源地域周辺の上地地区で実施している経緯があり、平成22年度においてもこの実績を基に継続し、発展的展開を行うため、千代川水系袋川の下流に位置する遷喬地区と、袋川の最上流である殿ダム周辺及び上流側の水源地域に位置する成器地区（上上地地区、上地地区、上荒船地区、荒船地区、神護地区、山崎地区、中河原地区、松尾地区、吉野地区、新井地区）との交流を老人世代が主体となって両地域の風土と生活習慣そして伝統文化を確かめながら、次世代へ残せるような「まちなか」と「水源地域」の老人世代交流事業を実施することにした。



5. 調査報告

(1) 水源地域活性化活動の企画立案

水源地域活性化活動を企画立案するにあたり、地元関係者との連携が必要であることから、この事業の提案書を作成する時点で「まちなか」である遷喬地区まちづくり協議会と「水源地域」の上地地区に対し内諾を得て企画提案書を作成した。

平成22年6月16日付けの特定通知書を受けて以降の企画立案から実施までの経緯は以下の通りである。

- ・ 7月1日 鳥取市国府町総合支所へ「まちなか」と「水源地域」の老人世代交流事業についての取り組み及び協力依頼をお願いする。
平成22年度の地区座談会が7月14日に成器地区で、7月15日に大茅地区で開催されるのでそのときに事業説明してくださいとの事だった。
- ・ 7月10日 まちづくりの専門でワークショップを担当していただく早稲田大学客員研究員後藤秀昭氏と共に「まちなか」と「水源地域（成器地区・大茅地区）」を視察し、事業全体の実施計画と作業項目、及び作業日程等について協議した。

大茅地区雨滝のレストランを視察



- ・ 7月12日 事業全体の実施計画と作業項目、及び作業日程等を作成。

■「老世代交流事業」スケジュール

項目	内容	日程	メンバー
事前調査	現地視察（雨滝、神社、巨樹、とうふ）	7／9～10	後藤
お願い	朝市、アンケート等への協力要請	7／14	ラーバン
調整	朝市実施スケジュールと作物収穫・加工品等の確認	7月中	ラーバン
作業	遷喬地区のアンケート結果の収集	7月中	ラーバン
調査	両地域の生活力調査（資料収集分析）	8月中	ラーバン
作業	アンケート票の修正と印刷	8／20まで	
WS①（in 水源地）と 交流会	●雨滝遠足（上地の弁当+とうふデザート） ●水源地の宝探しとガリバーマップづくり ●生産・活動カレンダーづくり ●そのまま交流展に移行する。	8／21	ラーバン 後藤
朝市①	夏野菜	8／28	成器地区
朝市②	夏野菜	9／11	大茅地区
作業	アンケートの回収・集計・分析	9月中	ラーバン
朝市③	秋野菜	9／25	成器・大茅地区
朝市④	秋野菜	10／9	„
朝市⑤	秋野菜	10／23	„
交流展（in 遷喬）	●両地域の魅力展示 ●水源地のアンテナショップ	10／30－31	ラーバン
講演会と 交流会 （in水源地 ）	●紅葉狩り・巨樹巡り（弁当） ●中間調査結果の発表（地域の特徴） ●アンケート集計結果をもとにした講演	11／7	ラーバン ラーバン 森反
朝市⑥	秋野菜、加工品	11／13	成器・大茅地区
朝市⑦	冬野菜、加工品	11／27	„
朝市⑧	冬野菜（白菜）	12／11	（8時～10時）
WS②（in 遷喬）	●技と資源の融合（オリジナルキムチづくり、キムチを使ったメニューづくり） ●地域間交流ビジネスづくり	12／11（10：30～12：30+食事）	ラーバン 後藤
朝市⑨	かき餅、加工品、冬野菜	12／25	成器・大茅地区
朝市⑩	漬物、かき餅、（お酒）	1／8	„
WS③（in 水源地）と 交流会	●技と資源の融合（オリジナルキムチの試食会） ●地域間交流ビジネスづくり（その2）	1／23	ラーバン 後藤
報告会	●調査結果発表、情報誌の配布 ●結果に対するコメントまたは講演 ●交流促進母体の結成	2／13	ラーバン 森反+後藤 両地区代表調印

- ・ 7 月 1 4 日 成器地区座談会にて事業説明を行った。
(上上地地区、上地地区、上荒船地区、荒船地区、神護地区、山崎地区、
中河原地区、松尾地区、吉野地区、新井地区)

成器地区座談会にて事業説明



- ・ 7 月 1 5 日 大茅地区座談会にて事業説明を行った。
(雨滝地区、木原地区、下木原地区、石井谷地区、大石地区、栃本地区、
楠城地区)

大茅地区座談会にて事業説明



- ・ 7月26日 遷喬地区まちづくり協議会へ事業説明を行い事業計画の確認のための打ち合わせを行った。

○各地区への事業計画を説明していく作業の過程において、大茅地区（雨滝地区、木原地区、下木原地区、石井谷地区、大石地区、栃本地区、楠城地区）は、まちづくり協議会が「道路整備等のハード事業を要望しており、老人世代交流会のようなソフト事業については考えていないので今回は見送らせて欲しい。」との返事であったため、当事業は、「まちなか」を遷喬地区とし、「水源地域」を成器地区として位置づけし、老人世代交流事業を実施することとした。

(2) 水源地域活性化活動の実施

1) 「まちなか」と「水源地域」で 調査事業の実施

「まちなか」と「水源地域」の両地域に結成されている「まちづくり協議会」(遷喬地区まちづくり協議会、まちづくり・いきいき成器の会) に後援を頂き、老世代の方々を対象に「生活環境と生活意識について」 アンケート調査及び交流会参加協力の呼びかけをお願いし、アンケートを実施した。

アンケート調査の内容と調査結果

①両地域に「生活環境と生活意識について」同一設問でアンケート調査

対象者 : 国府町成器地区・遷喬地区の65歳以上の方

調査期間: 平成22年7月～9月

調査人数: 成器地区 79名 (男性32名・女性47名)

遷喬地区 80名 (男性47名・女性33名)

(イ) あなたの年齢は、どれにあたりますか。

	遷喬地区	成器地区	合 計
65歳～70歳	31	15	46
71歳～75歳	21	21	42
76歳～80歳	11	22	33
81歳以上	17	21	38

(ロ) あなたは男性ですか、女性ですか。

	遷喬地区	成器地区	合 計
男 性	7	32	79
女 性	33	47	80

(ハ) 現在、職業に就いておられますか。

	遷喬地区	成器地区	合 計
職業に就いている	37	15	52
職業に就いていない	43	64	107

職業に就いている人は

	遷喬地区	成器地区	合 計
会社等に勤務	4	2	6
自営業	24	7	31
その他	9	6	15

(ニ) あなたの家族構成についてお聞きます。

	遷喬地区	成器地区	合 計
一人暮らし	8	12	20
夫婦のみ	29	21	50
子供と一緒に	19	20	39
孫も一緒に	17	19	36
その他	7	7	14

(ホ) あなたの今の暮らし（生活）について、お聞きします。

	遷喬地区	成器地区	合 計
満足している	2 7	2 5	5 2
普通である	4 7	4 2	8 9
満足していない	4	1 0	1 4
わからない	2	2	4

満足している方の理由（複数回答あり）

	遷喬地区	成器地区	合 計
衣・食・住に不足がない	2 5	1 5	4 0
のんびりと暮らしていける	6	9	1 5
健康である	2 0	1 0	3 0
災害の危険がない	5	0	5
話し相手がいる	1 2	7	1 9

(ヘ) あなたが思われる、豊かな暮らしとは何ですか。（複数回答あり）

	遷喬地区	成器地区	合 計
毎日ゆっくり生活する	2 4	1 4	3 8
夫婦で毎日仲良く過ごす	2 1	1 3	3 4
自然の恵みに、毎日感謝して生きる	2 0	1 7	3 7
毎日農作業に精を出し、収穫を迎える	1	1 6	1 7
毎日が健康である	5 8	4 9	1 0 7

(ト) あなたが思われる、今の暮らしに不足していることはなんですか。

（複数及び無回答あり）

	遷喬地区	成器地区	合 計
総出でする地区の行事	1 2	5	1 7
話し相手	1 1	1 3	2 4
若い人	1 8	6	2 4
交通の便（路線バス）	2	2 0	2 2
診療所や病院	2	9	1 1
子供との触れ合い	7	8	1 5
買い物をする店	1 6	1 2	2 8

(チ) あなたが思われる、今住んでいる場所の一番良い所、自慢にできることは何ですか。

その他は、思われることをお書きください。

（複数及び無回答あり）

	遷喬地区	成器地区	合 計
自然環境に恵まれている	3 2	5 5	8 7
住民で地区を守る	1 0	1 1	2 1
助け合いで、明るく生きている	2 3	2 7	5 0
お祭りが続いている	5	3	8
その他	2 3	0	2 3

※その他に書かれた主な内容

- 公共機関（役所、学校等）、買い物店、医療機関、交通の便等なにかに生活に便利な所です。
- 住民同士にもめごとが少なく、明るく穏やかに、静かに暮らせる。

(リ) あなたの「いきがい」は何ですか。

その他は、思われることをお書きください。

(複数及び無回答あり)

	遷喬地区	成器地区	合 計
元気で暮らす	6 2	5 7	1 1 9
孫達の成長	2 4	1 5	3 9
近所・仲間との交流	1 9	2 3	4 2
散 歩	7	4	1 1
テレビ・ラジオの視聴	1 2	7	1 9
読 書	1 4	5	1 9
旅 行	1 3	7	2 0
その他	1 1	2	1 3

※その他に書かれた主な内容

- 趣味に生き継続する（釣り、謡曲、野草鉢作り、絵画、手芸、車）。
- 生き方、考え方を表現し、真剣に話し合う時や場所がある。
- 地域への貢献ボランティア。

(ヌ) あなたが、今一番やってみたいと思う事は何ですか。

その他は、思われることをお書きください。

(複数及び無回答あり)

	遷喬地区	成器地区	合 計
家族旅行	3 7	3 2	6 9
盆・(傘) 踊り大会	1	4	5
地区対抗歌合戦	1	3	4
同窓会	9	5	1 4
その他	2 8	4	3 2

※その他に書かれた主な内容

- 持病を治しトレーニングを始め、体力回復と各種スポーツに挑戦。
- 町内会総出で行う行事（ワラビ取り、桜見、スイカ割り、遠足等）を実行し、逐次輪を広げ地域内の相互親和、助け合いの精神を作る。
- 地域活動として各町内の高齢者を取り巻く関係の整備、特に、「ご近所お助け運動」に取り組んでみたい。町内会の活性化をもっとも大切にしたいと思いますが、高齢者が楽しく住みやすいまちづくり活動へと発展させてみたい。
- 集落の懇話会を開催する。そして、他区民との交流も進める。
- もう少し世帯がほしい。防災清掃等奉仕作業に参加する人が限定されている傾向がある。お互いに地域を守る事に努めてほしい。
- 国府町と協議され、冬期は毎月1回くらい、午前中野菜類の販売を遷喬公民館で実施することが出来ないか。